

みやぎのオリジナルゆり

# 無花粉で微香性の ゆり「ルビーマジック」

花粉が  
つかない

栽培のてびき

香りが  
少ない



 宮城県



## 「ルビーマジック」の特性

- 「ルビーマジック」は、シンテッポウユリとスカシユリの交配種です。
- 花は外側がクリームゾンレッド、内側がピンクとクリームの2色咲きです。
- 切り花は水揚げがよく、かなり小さなつぼみも咲きます。
- 小球開花性なので、球根生産が容易です。
- 立葉なので、密植できます。



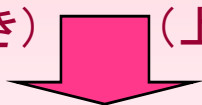
シンテッポウユリ



スカシユリ

(小球開花性、上向き咲き)

(上向き咲き、微香性、複色)



ルビーマジック

(小球開花性、  
上向き咲き、  
微香性、複色)

# 「ルビーマジック」の特長



## ■無花粉

花粉が出ないので、花びらや服を汚すおそれがありません。

## ■微香性

かすかな香りなので、強い香りが苦手な方でも大丈夫です。

## ■上向き咲き

上向き咲きなので、切り花は花束やアレンジに向きます。

形質	育成品種	対照品種(市販の類似品種)	
	ルビーマジック	ベルメール	シュガー Jewel
花の着生角度	斜上	斜上	斜上
花弁の裏面の主な色	濃紫ピンク	紫ピンク	明紫赤
花弁の表面の色のタイプ	複色	複色	複色
花弁の表面の主な色	穏紫ピンク	鮮紫ピンク	淡緑黄
花弁の表面の複色の色	黄白	黄白	鮮紫ピンク
葯の有無	有	有	有
花粉の有無	無	有	有
花の香り	無又は極弱	無又は極弱	無又は極弱

注) 花色: JHSカラーチャートの色名



# 「ルビーマジック」栽培マニュアル

## ■切り花・鉢物の作型

### ○促成栽培

- ・開花球を11月下旬ごろから冷蔵(5℃、6週間程度)した後、1月上旬ごろに植え付けて最低気温が13℃程度になるよう保温・加温すると、4月上旬ごろに収穫・出荷できます。

### ○半促成栽培

- ・開花球を11月下旬ごろに植え付けて自然低温に遭遇させた後、2月上旬～4月上旬ごろから最低気温が13℃程度になるよう保温・加温開始すると、4月下旬～6月上旬ごろに収穫・出荷できます。

### ○普通栽培(季咲き栽培)

- ・開花球を11月下旬ごろに植え付けて栽培すると、6月下旬ごろに収穫・出荷できます。

## ■球根生産体系

- ・3月上旬ごろに母球を掘り上げ、りん片繁殖し、5月下旬ごろに形成された子球を植え付けると、11月下旬ごろに開花球を生産できます。

作型	11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
促成			△			●			∩									■																					
半促成			●						∩						∩			■			■																		
普通			●												∩						■																		
球根			◇									▽									▼																		◆

凡例 △:開花球冷蔵(5℃・6週間), ●:開花球植付, ∩:保温・加温開始(13℃), ■:切花収穫  
◇:母球植付, ▽:母球掘上・りん片繁殖, ▼:子球植付, ◆:開花球掘上



## ■切り花生産

### ○土づくり

- 植え付けする場所は、4～5年間はコリを作付けしていない場所が望ましいが、連作する場合は土壌消毒（ガスタード微粒剤1a当たり2kg、平成26年11月現在登録）を行います。また、完熟堆肥を1a当たり0.5t程度施用し、十分に深耕します。

### ○施肥

- 切り花生産の場合、土壌分析（pH、EC、硝酸態窒素）結果に基づき、施肥設計を立てます。

項目	目標値
pH	6.0～6.5
EC	0.5 dS/m
NO <sub>3</sub> -N	15～25mg/100g

酸性が強い土壌の場合は苦土石灰やようりんを施して、pHを6.0～6.5に調整します。

ECや硝酸態窒素が目標値より低い場合は、窒素・燐酸・カリをそれぞれ1a当たり成分量で1.5kg程度を目標にして基肥を施し、必要に応じて追肥を行います。

## ○球根冷蔵

- 自然低温に遭遇させず冷蔵する場合は、入手した球根をよく水洗後、直ちに消毒(ホーマイ水和剤200倍液に30分間浸漬、平成26年11月現在登録)して、日陰で軽く乾燥させます。
- 強く握って水が出る程度に湿らせたピートモス、バーミキュライト、オガクズなどで球根をパッキングして箱に詰め、5℃程度で6週間程度冷蔵します。



## ○植え付け

- 球径3~4cm球を条間・株間とも12cm程度に植え付け、覆土は5cm程度とします。  
黒ポリマルチなどを使えば、土壤水分を保ち、除草の手間を省くこともできます。
- 茎が堅いので、フラワーネットは不要です。



## ○栽培温度

- 球根の入手・植え付け後に凍らない程度の自然低温に遭遇させます。
- 昼間は25℃以下となるよう換気します。



## ○かん水

- 生育期間を通じて、水分不足は収穫が遅れ、切り花長が短くなり、切り花品質を損なうので注意します(下段写真参照)。与える時は充分にかん水を行い、収穫期ごろまで乾燥しないように土壤水分を維持します。かん水チューブなどを設置して、かん水ムラをなくします。



かん水:少

中

多

## ○病害虫防除

- 発芽後は、ウイルスを伝搬するアブラムシ類を定期的に防除します。  
ウイルス症状を示している株を見つけた場合は、直ちに球根ごと抜き取って焼却します。
- 湿度が高くなるような条件では葉枯病 (*Botrytis elliptica*) が発生するので、換気を行うとともに、発生が心配されるような場合(雨が続くなど)は殺菌剤で予防散布を行います。  
同一系統の薬剤を連用せずに2週間に1回程度散布します。



葉枯病の症状

## ○収穫・調製

- 第1花蕾の着色が始まったら順次収穫します。  
規格別に束にして結束し、花蕾を傷めないようにセロファンで包装して、冷暗所で一晚、前処理(クリザールメリア200倍液)してから出荷します。
- 切り花の花蕾は第1花が折れやすく、また湿式で貯蔵した場合に折れやすいため、収穫調製時には注意が必要です。  
その対策としては、収穫調製時に切り花をゴザなどに包んで短時間、横に置き軽く水分を抜くと、しなって折れにくくなります。  
また、切り花を束ねる際に、第1花蕾が内側になるようにします。





## ■鉢物生産(作型は切り花に準じる)

### ○土づくり

・市販の培土など保水性・排水性の良い用土を用います。

### ○施肥

・窒素・燐酸・カリをそれぞれ1L当たり成分量で0.4g程度になるように基肥を施し、必要に応じて追肥を行います。

### ○植え付け

・球径2~3cm球を5号鉢に3球植えを目安とし、覆土は5cm程度とします。



### ○かん水

・生育期間を通じて水分不足はブラスチング(蕾の枯死)が多くなり、鉢物品質を損なうので注意します。

与える時は充分にかん水を行い、出荷期ごろまで乾燥しないように土壤水分を維持します。

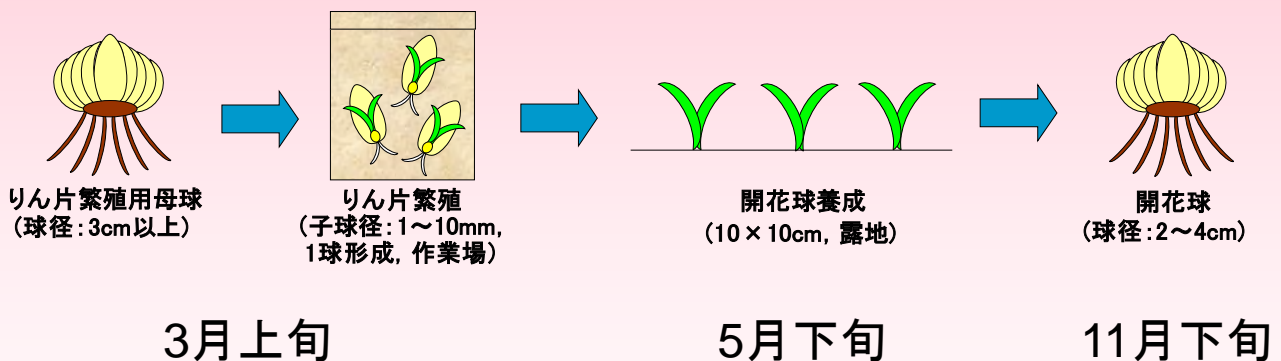
### ○出荷

・第1花蕾の着色が始まったら、花蕾を傷めないようにセロファンで包装し、ラベルを付けて順次出荷します。

## ■球根生産(球根生産、自家増殖をする場合)

### ○りん片繁殖

- ・3月上旬ごろに、りん片繁殖用母球を掘り上げ、切り花・鉢物生産に準じて消毒します。
- ・球径3cm以上の母球の最外周の傷んだりん片を除いて、その内側の0.5g以上のりん片をはがします。
- ・ポリ袋(0.03×460×600mm、15L)にりん片2Lとバーミキュライト(GL)5Lと水道水1Lとを入れて良く混和します。
- ・空気を充分に入れた後、ポリ袋の口を三つ折りにして、軽く結んで閉じ、ポリ袋の全面に直径2.5mm程度の釘で30か所程度の孔をあけます。
- ・ポリ袋を通気性のあるコンテナに入れ、直射日光の当たらない作業場などの暗所に約3か月間置いて、子球を形成させます。
- ・コンテナは毛布などの通気性のある保温材で被覆し、0～25℃を保つようにします。



## ○開花球(3~4cm)養成

- りん片に球径1~10mmの子球が1球程度形成されたものを、りん片からはがさずに5月下旬ごろに植え付けます。
- 条間・株間とも10cm程度、覆土は5cm程度とし、マルチ栽培で地表の乾燥を防ぎます。
- かん水は必要に応じて随時行い、適度な土壤水分を維持し、病害虫防除は、切り花・鉢物栽培に準じて行います。
- 一輪だけ咲かせて花の形質を確認したらできるだけ早く摘蕾し、花の形質の悪い株は抜き取ります。
- 11月下旬ごろに、ウイルス病等のない健全な球根を丁寧に掘り上げます。



りん片から形成された子球



植え付けた子球からの発芽



球根の肥大状況



掘り上げた開花球

## 「ルビーマジック」の品種名の由来

本品種は、花色がルビー色で、マジック(魔法)にかけられたように花粉が出ないため、「ルビーマジック」と名付けられました。

### 注 意

ルビーマジックの自家増殖した球根を第3者へ販売・譲渡することは認めておりません。

球根の増殖販売を行うためには、別途県との許諾契約が必要になります。

品種登録:第21370号

### 栽培技術に関する問い合わせ

宮城県農業・園芸総合研究所 園芸栽培部

宮城県名取市高館川上字東金剛寺1番地

TEL 022-383-8132

FAX 022-383-9907

E-mail [marc-kk@pref.miyagi.jp](mailto:marc-kk@pref.miyagi.jp)

http:

[//www.pref.miyagi.jp/soshiki/res\\_center/](http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/)

編集・発行(平成26年11月)

宮城県農林水産部 農産園芸環境課

宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号

TEL 022-211-2843

FAX 022-211-2849

E-mail [noenkan@pref.miyagi.jp](mailto:noenkan@pref.miyagi.jp)

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/noenkan>

